平成16年第２回竜王町議会定例会

平成16年５月27日
午前10時45開議
於　議　場

## １　議　事　日　程

日程第１　議第35号　平成16年度竜王町一般会計補正予算（第２号）
（総務教育民生常任委員長報告）

日程第２　地域整備特別委員長報告

日程第３　議会広報特別委員長報告

日程第４　合併調査特別委員長報告

日程第５　所管事務調査報告
（議会運営委員長報告）
（総務教育民生常任委員長報告）
（産業建設常任委員長報告）

日程第６　議員派遣について

**２　会議に出席した議員（13名）**

| | |
|---|---|
| １番　中　島　正　己 | ３番　中　村　義　彦 |
| ４番　近　藤　重　男 | ５番　辻　川　芳　治 |
| ６番　寺　島　健　一 | ７番　圖　司　重　夫 |
| ８番　竹　山　兵　司 | ９番　岡　山　富　男 |
| 10番　西　　隆 | 11番　川　嶋　哲　也 |
| 12番　若　井　敏　子 | 13番　勝　見　幸　弘 |
| 14番　村　井　幸　夫 | |

**３　会議に欠席した議員（なし）**

**４　地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 町長 | 福島　茂 | 助役 | 住田善和 |
| 収入役 | 福山繁一 | 教育長 | 犬井久夫 |
| 総務主監 | 林　吉孝 | 企画主監 | 佐橋武司 |
| 住民福祉主監 | 池田純一 | 産業建設主監 | 松尾　勲 |
| 総務課長 | 北川治郎 | 税務課長 | 杼木博子 |
| 生活安全課長 | 青木　進 | 住民福祉課長 | 西村喜代美 |
| 農業振興課長<br>兼農業委員会事務局長 | 三井せつ子 | 商工観光課長 | 川部治夫 |
| 建設計画課長 | 小西久次 | 上下水道課長 | 松村佐吉 |
| 教育次長 | 村地半治郎 | 学務課長 | 松浦つや子 |
| 生涯学習課長 | 竹山喜美枝 | | |

**５　職務のため議場に出席した者**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 主監兼議会事務局長 | 三崎和男 | 書記 | 古株治美 |

開議　午前10時45分

**○議長（村井幸夫）**　皆さん、おはようございます。

ただいまの出席議員数は、13人であります。よって、定足数に達していますので、これより平成16年第２回竜王町議会定例会を再開いたします。

これより、本日の会議を開きます。

本日の議事日程はお手元に配付のとおりであります。

これより、議事に入ります。

～～～～～～～～　○　～～～～～～～～

**日程第１　　議第35号　　平成16年度竜王町一般会計補正予算（第２号）**

**（総務教育民生常任委員長報告）**

**○議長（村井幸夫）**　日程第１、議第35号を議題といたします。

本案は、総務教育民生常任委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果を委員長より、報告を求めます。

総務教育民生常任委員長、勝見幸弘議員。

**○総務教育民生常任委員長（勝見幸弘）**　総務教育民生常任委員会報告いたします。

平成16年５月27日　　委員長　勝見幸弘。

去る５月19日に開催の定例議会本会議において、本委員会に審査の付託を受けました議第35号、平成16年度竜王町一般会計補正予算（第２号）について、審査の経過と結果を報告します。

本委員会は、５月20日午後１時より第一委員会室において、委員全員出席、企画財政課、農業振興課等、関係各課が説明員として出席し、委員会を開催しました。

平成16年度竜王町一般会計補正予算第２号は、第１号までの予算額に３億1,140万円を追加し、歳入歳出予算総額51億9,360万円に改めるもので、その内容はＪＡグリーン近江のカントリーエレベーター建設について、農業生産総合対策事業補助金が交付されることに伴う３億875万円の増額、消防団員退職に伴う不足分の増額、ＡＬＴ招致事業等です。

主な質疑・応答は、以下のとおりです。

問、カントリーエレベーター建設について、県の補助金はないのか。答、カントリーエレベーター本体にはありません。色彩選別機のみに250万円の補助があります。

問、竜王町の補助金はないのか。答、補助金要綱もありませんので、現時点で

は考えていません。

問、新設により利用者負担はふえるのか。答、ＪＡの計画では大規模農家や営農組合などの利用促進も考えていて、今より安い利用料金にしたいとのことです。建設費の農家負担もないと聞いています。利用計画作成のため、既に利用希望などのアンケート調査を実施され、利用者ニーズにこたえていくとのことです。

問、山之上の現施設はどうするのか。答、麦の貯蔵庫として利用されます。

以上、慎重審査の結果、全員賛成で可決すべきものと決しましたので報告します。

**○議長（村井幸夫）**　ただいま、総務教育民生常任委員長より、審査の経過と結果の報告がございました。

これより、委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

［「なし」の声あり］

**○議長（村井幸夫）**　ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

［「なし」の声あり］

**○議長（村井幸夫）**　ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより採決を行います。

日程第１、議第35号を委員長報告のとおり決することに賛成諸君の起立を求めます。

［賛成者起立］

**○議長（村井幸夫）**　起立全員であります。よって、日程第１、議第35号は委員長報告のとおり可決されました。

～～～～～～～～　○　～～～～～～～～

**日程第２　　地域整備特別委員長報告**

**○議長（村井幸夫）**　日程第２、地域整備特別委員長報告を議題といたします。

地域整備特別委員長、川嶋哲也議員。

**○地域整備特別委員長（川嶋哲也）**　地域整備特別委員会報告をいたします。

平成16年５月27日。

委員長　川嶋哲也。

本委員会は、４月14日午後１時より、委員全員出席、執行部より松尾主監、川部課長の出席を求め、積水樹脂株式会社枚方工場を視察調査いたしましたので、

報告します。

積水樹脂株式会社枚方工場について、この工場は昭和37年建設、その当時は多くの企業が進出、工場地帯となったが、その後、公害及び環境問題等から各企業が撤退、周辺は宅地化が進んできた。

昭和46年に竜王町西川に、その後、鏡地先に第２工場を、今回50周年を記念して、本年９月、竜王町鏡地先に第３工場として枚方工場を移転し、新築することとなった。

竜王町新工場での社員25名、及びパート20名ぐらい、地元採用を考えている。

なお、社員のうち、４名を新規採用、うち３名は竜王町の方。現竜王町工場から５名の方が枚方工場で研修を受けている。

なお、説明を受けた後、工場内を視察いたしました。

次に、本委員会は５月20日、午前９時より、第１委員会室において委員全員出席、執行部より住田助役、松尾主監、佐橋主監、三井課長、小西課長、杼木課長補佐の出席を求め、委員会を開催、助役あいさつの後、滋賀県高速道路利用センター及び、西武竜王リゾート計画の状況等について調査をいたしましたので、報告します。

１点目。滋賀県高速道路利用センターについて

・高速道路公団の民営化により、状況が変わるが、組合としては前向きに進めている。

・前回に説明したとおり、平成16年度中に検討・運営方法等を決めていく。地元からも要望が出ており、６月11日の組合役員会で温泉（水温38度・１分間に100リットル）について、そのままでは湯がとまることにもなるので、足湯及び温泉の自動販売機を検討、８月の総会に諮り、進めていくとのこと。

・利用組合は、解散はしない（できない）。開発許可期限、18年５月31日。

委員会からの主な質疑・応答・要望

質問、建物等の整備についての考えは。答、あずま屋ぐらい建てたいとの考えである。

質問、法の変更、決定によっては、運営ができないことはないのか。答、運送会社も国に要望しており、組合と公団は一体であることから、後押しが考えられる。

要望、地元の要望も出されており、早期着工と事業の取りやめのないよう、町も協力。状況が変われば、報告されたい。

２点目の西武竜王町リゾート計画の状況について。

・５月初め、連休明けに西武事務所より来町、竜王町の事業については変えていないので、平成17年12月までにはすべての許認可を終えて工事に着手したいとのことです。

・九州鹿児島（ゴルフ場）、北海道（ホテル改修）、長野県軽井沢（増設）の工事が完了の見通しがついたので、竜王町の事業に本格的に取り組むとのことです。

・今後の重要協議手続事項について、交通アクセスとして名神高速道路を８割利用するとのことの国・県との協議、及び事業計画中の商業施設区域を都市計画法による用途区域の変更（商業系市街化区域18ヘクタール）が必要である。

・都市計画の変更は、町都市計画審議会に諮ることとなる。

要望、都市計画の見直し計画を表にして提示すること。

以上、地域整備特別委員会報告といたします。

なお、引き続き閉会中も調査活動をしたいと委員全員決めておりますので、議長、よろしくお取り計らいくださいますようお願いします。

以上です。

**○議長（村井幸夫）**　ただいまの地域整備特別委員長報告に対して、質問がございましたら発言を願います。

［「なし」の声あり］

**○議長（村井幸夫）**　ないようでありますので、お諮りいたします。

委員長の報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を認めることにいたしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

［「なし」の声あり］

**○議長（村井幸夫）**　ご異議なしと認めます。よって、委員長報告のとおり閉会中も継続して調査活動を行うことに決しました。

～～～～～～～～　○　～～～～～～～～

**日程第３　議会広報特別委員長報告**

**○議長（村井幸夫）**　日程第３、議会広報特別委員長報告を議題といたします。

議会広報特別委員会委員長、竹山兵司議員。

**○議会広報特別委員長（竹山兵司）**　議会広報特別委員会報告。

平成16年５月27日。

議会広報特別委員長　竹山兵司。

議会広報特別委員会は、４月５日、４月16日、４月23日、委員全員出席のもと委員会を開催し、議会だよりナンバー127号を編集しました。

議員各位をはじめ、関係機関のご協力により、４月28日に発行できました。

また、５月19日、５月24日、委員全員出席のもと、議会だよりナンバー128号の編集会議を行いました。

議会活動を中心に、愛され、親しまれる機関紙を目指し、議会だよりの発行に努めてまいります。

なお、引き続き閉会中も調査活動をいたしたいと委員全員で決めておりますので、議長、よろしくお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。

**○議長（村井幸夫）**　ただいまの議会広報特別委員長報告に対し、質問がございましたら発言を願います。

［「なし」の声あり］

**○議長（村井幸夫）**　ないようでありますので、お諮りいたします。

委員長の報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を認めることにいたしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

［「なし」の声あり］

**○議長（村井幸夫）**　ご異議なしと認めます。よって、委員長報告のとおり閉会中も継続して調査活動を行うことに決しました。

～～～～～～～～　○　～～～～～～～～

**日程第４　合併調査特別委員長報告**

**○議長（村井幸夫）**　日程第４、合併調査特別委員長報告を議題といたします。

合併調査特別委員長、勝見幸弘議員。

**○合併調査特別委員長（勝見幸弘）**　合併調査特別委員会報告。

平成16年５月27日。

委員長　勝見幸弘。

去る４月24日、25日、長野県原村で行われた「第３回小さくても輝く自治体フォーラム」に、自主参加として委員全員で参加しました。

この集会には、全国125の自治体から33首長を含む約500人が参加され、合併に頼らないまちづくりや、合併関連新法案について議論されました。それぞれの自治体が自立推進のために独自で取り組まれている事例は、竜王町にも参考になるものと思われました。

去る５月21日、午後１時より、委員全員出席のもと、合併調査特別委員会を開

会いたしました。

福島町長のあいさつを受けた後、委員長の議員辞職に伴う互選を行いました。

委員長に勝見幸弘が、副委員長に若井敏子議員が選出されました。

その後、執行部より、佐橋企画主監、杼木・松瀬両企画財政課長補佐の出席を求め、会議を開きました。

まず、近隣県下の合併状況についての説明を受けました。

日野町の情勢や、東近江１市４町の協定書調印や、他の法定協議会の状況等の内容でした。

続いて、竜王町の自律推進計画についての説明を受けました。この計画は、単に縮減目標を示す行政改革でなく、行政運営のスタイルの見直しや、住民との関係を十分配慮し、経営的、総合的観点と行動計画、数値目標を踏まえたものにするとのことです。柱としては、行政、財政、意識の３つの改革とし、平成16年４月から17年３月までの検討策定期間を設置し、16年９月に部分公表するとともに、第１次実施、第２次実施と、取り組むものです。

町内の竜王町自律推進計画検討委員会設置規程や委員名簿も示され、５カ所の先進地研修の報告も受けました。

主な質疑・応答は、

問、住民の視点に立ったとあるが、このメンバーでいいのか。答、現段階はたたき台をつくるためなので、庁内での委員会となっています。今後は、公募の委員も入っていただくことを検討します。住民の意識改革についても取り組みが必要だと考えております。

問、近江八幡市、安土町、竜王町の合併しない町同士の連携はどうか。答、県としては、残った町を指導する立場もあり、東近江の担当者も交えて多様な連携の検討も考えられると思います。等の質疑・応答がありました。

以上、合併調査特別委員会報告といたします。

なお、引き続き閉会中も調査活動をしたいと委員全員で決めておりますので、議長、よろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします。

**○議長（村井幸夫）**　ただいまの合併調査特別委員長報告に対して、質問がありましたら発言を願います。

［「なし」の声あり］

**○議長（村井幸夫）**　ないようでありますので、お諮りいたします。

委員長の報告のとおり、閉会中も継続して調査活動を認めることにいたしたい

と思いますが、これにご異議ありませんか。

［「なし」の声あり］

**○議長（村井幸夫）**　ご異議なしと認めます。よって、委員長報告のとおり閉会中も継続して調査活動を行うことに決しました。

～～～～～～～～　○　～～～～～～～～

**日程第５　所管事務調査報告**

**（議会運営委員長報告）**

**（総務教育民生常任委員長報告）**

**（産業建設常任委員長報告）**

**○議長（村井幸夫）**　日程第５、所管事務調査報告を議題といたします。

各委員長より報告を求めます。

議会運営委員長、中島正己議員。

**○議会運営委員長（中島正己）**　議会運営委員会報告。

平成16年５月27日。

委員長　中島正己。

本委員会は、５月11日、午後１時より第一委員会室において、委員全員出席のもと委員会を開催いたしました。執行部より福島町長・林総務主監・佐橋企画主監の出席を求め、町長あいさつのあと、平成16年第２回定例議会に提出される議案事件について説明を受けました。

今回提案される案件は、専決処分４件、条例改正１件、平成16年度竜王町一般会計補正予算第２号、繰越明許費計算書について４件、追加議案４件であります。

本委員会は、会議録署名議員の指名について、会期及び審議の日程について、一般質問について、提出議案の処理について等審査決定し、５月17日の全員協議会で報告のとおりであります。

以上、委員会報告といたします。

なお、閉会中も引き続き委員会活動を続けたいと委員全員で決めておりますので、議長、よろしくお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。

**○議長（村井幸夫）**　次に、総務教育民生常任委員長、勝見幸弘議員。

**○総務教育民生常任委員長（勝見幸弘）**　総務教育民生常任委員会所管事務調査。

総務教育民生常任委員会所管事務調査報告を行います。

平成16年５月27日。

委員長　勝見幸弘。

本委員会は、去る５月20日、午後１時より、委員全員出席のもと、付託案件審査の後、林総務主監・青木生活安全課長の出席を求め、調査活動を行いました。

その内容は、次のとおりであります。

本年４月21日、竜王町内の主要な公共交通機関であるＪＲバスが突然、路線廃止の申し出をしてきたことについての説明がされました。モータリーゼーションの進展、少子化等により、利用客の減少に歯止めがかからず、収支が悪化し、路線の運行を継続することが困難になったため、水口営業所の三雲・近江八幡間の路線を平成17年３月末で廃止するとのことです。

主な質疑・応答は、次のとおりです。

問、滋賀県地方バス対策地域連絡協議会とは、どのような組織か。答、乗合バス輸送等に係る生活交通の維持・確保・方策について、連絡・協議及び調整を行うもので、路線廃止に伴う協議となります。

問、近江バスには出ている補助金がＪＲバスには出ていないのか。答、赤字路線に対し、生活交通路線維持費補助金が国・県・町、それぞれ３分の１ずつ支出され、特別交付税の算入措置もありますが、一定の要件を満たすことが必要です。ＪＲバスは、この要件を満たすことができませんので、補助金は出ていません。

問、町としてのこれからの対応はどうするのか。答、利用者だけの問題ではなく、竜王町全町の問題としてとらえ、存続を前提として対応していきます。同時に、関係市町で市町村協議会を立ち上げ、協議し、二本立てで取り組みます。

以上、総務教育民生常任委員会の所管事務調査報告といたします。

なお、本委員会は、引き続き閉会中も調査活動を続けていきたいと委員全員が決めておりますので、議長、よろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします。

**○議長（村井幸夫）**　次に、産業建設常任委員長、西　　隆議員。

**○産業建設常任委員長（西　　隆）**　産業建設常任委員会所管事務調査報告。

平成16年５月27日。

委員長　西　　隆。

閉会中の所管事務調査について、報告いたします。

本委員会は、４月16日、午前９時から委員全員出席のもと、委員会を開催しました。

執行部より、松尾産業建設主監・川部商工観光課長・小西建設計画課長の出席を求め、調査活動を行いました。その内容は、次の通りであります。

１、竜王町シルバーワークプラザの新築について。

場所は、竜王町小口227番地の１。

敷地面積618.76平方メートル。

事業費4,623万3,600円。これは、全国シルバー人材連合会奨励金2,000万円が入っております。

施設の明細、構造、鉄骨づくり２階建て。建築面積352平方メートル。

１階部分の作業室は、４月より使用、事務部門の移転は、６月ごろになります。

２階の１室を利用して保健センター委託事業、子育て支援として子どもの一時預かりを６月より開始の予定。

２、総合運動公園園路工事完了について。

園路・多目的広場面積2.4ヘクタール。都市基盤整備公団に工事を委託。

整備工事費２億3,000万円、国道477号線より870メートル。４月より、供用開始。

総合運動公園建設事業、平成２年度から平成14年度完了。

総面積22.3ヘクタール。

総事業費65億3,000万円。補助金として、約半分の31億8,000万円。

国道入口ゲートの開放は、イベント時、または必要に応じて行うことであります。

続いて、道の駅「竜王かがみの里」の竣工について。

平成15年11月22日オープン。

総面積１万1,000平方メートル。竜王町分が7,400平方メートル、国分が3,600平方メートル、地域振興施設として1,150平方メートル。

駐車場については、竜王町分51台、国の分25台、計76台分であります。

総事業費につきましては、11億6,700万円。うち、用地費が５億円。竜王町分７億8,000万円、国が３億8,700万円。なお、そのうち国土交通省に3,600平方メートル、１億4,000万円の用地売却を行っています。

施設経営管理状況、入場者、平日で約500人から600人。土曜日、日曜日は約1,200人利用。売上につきましては、11月９日間で950万円、12月1,640万円、１月1,400万円、２月1,520万円、３月1,450万円。出荷組合関係が30％、レストランが10％、パン・物産関係で60％。

なお、パートタイマー、アルバイト等、40名の体制で運営を行っています。これからは、果樹等の販売に期待しているとのことです。

特に、イベント等の計画はしておりません。

また、開会中の所管事務調査について、報告いたします。

本委員会は、５月21日、午前９時から、委員全員出席のもと委員会を開催しました。

町長あいさつの後、執行部より松尾産業建設主監・三井農業振興課長・村井参事の出席を求め、調査活動を行いました。その内容は、次の通りであります。

１、農業総合整備事業（蒲生・竜王地区広域圏型）の進捗状況と今後の計画について。

平成12年度に事業採択準備を行う。

各自治会に事業要望調査、８月に区長より要望報告書の提出。

採択基準は、農道及び集落道は、延長200メートル以上、幅員４メートル。農業排水路、集落排水路延長200メートル以上。竜王町は、いずれも地元で確保。補助対象外であります。

県農政局との採択等について協議を行います。

平成13年３月30日、事業採択。

総事業費24億2,700万円、竜王町分は６億9,800万円、竜王町採択路線等は、農道27路線、集落道４路線、集落排水路２路線、防火水槽設置５集落、集落水辺施設１路線、コンポスト事業６集落である。

平成13年度事業として、事業費302万円で農道・集落安全防災施設等測量設計業務を行う。

平成14年度事業、事業費4,298万円、集落安全防災施設１基、農道整備工事５路線、延長は1,570メートル、農道等測量業務一式、進捗率は、6.7％です。

平成15年度事業、事業費4,800万円、農道整備工事４路線、延長2,280メートル、集落道路整備工事１路線、延長205メートル、測量設計業務一式、進捗率13.5％であります。

この事業年度は、平成19年度までであります。

委員からの質問、進捗率が13.5％であるが、どのように今後の工事を考えているか。答、農村総合整備モデル事業でできなかったところを補うことに重点を置いている。農道の整備を主に、集落道、排水路を考えています。

問、蒲生・竜王連絡道についての計画は。答、県道交差点、一級河川２本等の工事に対する費用対効果と設計上のことがあり、いろいろ検討しているところです。

問、工事負担率と事業の見通しは。答、負担につきましては、国50％、県25％、町15％、地元10％である。事業量をふやすのでなく、減らす方向にあります。蒲生町が見直しをすれば、竜王町分も減る見通しです。

次に、２番、穀物乾燥調整貯蔵施設新竜王カントリーエレベーターの概要について。

事業名は、穀物乾燥調整貯蔵施設であります。

対象事業名、農業生産総合対策条件整備事業。

事業種目は、ブランド・ニッポン農産物供給体制確立条件整備事業であります。食と農の再生プランであります。

対象作物は、米と麦であります。

事業主体、ＪＡグリーン近江であります。

対象市町は、竜王町、八日市市の農家、約2,430戸、うち竜王町分は906戸。

処理面積につきましては641ヘクタール。

規模は、3,000トン規模。補助対象規模としては2,500トン。

事業量は、建設等工事、荷受施設、貯留乾燥施設、精選施設、もみすり調整施設、バラ出荷施設、自主検査設備、集塵施設、電気設備施設等であります。

事業料につきましては、11億502万円。補助対象事業費は９億2,084万8,000円であります。

補助金につきましては、３億875万円。

竣工予定は、平成17年３月31日。

穀物乾燥調整貯蔵施設、新竜王町カントリーエレベーターの設置の検討において、地球規模で進む温暖化に対応し、かつ、食の安全・トレサビリティ（生産利益）に配慮し、

１、二酸化炭素抑制のため、化石燃料を使用せずオール電化設備とする

２、食味にこだわった自然乾燥（常温除湿）方式

３、50トン容量の角ビンが60個の断熱貯蔵施設

４、施設規模3,000トン（乾もみ)、「環境こだわり米」生産目標の約50％を処理していく

５、トレサビリティ（生産利益）対応機器の導入等であります。

委員からの質問。

問、山之上の施設は、どのようにされるのか。答、築30年で老朽化しているが、麦の貯蔵施設として利用される計画であります。

問、残りの資金について、利用料金に影響が出ないのか。答、近代化資金の借り入れによる対応と聞いている。農家負担は行わない。利用料金については、下げる方向で検討していると農協より聞いております。

以上、産業建設常任委員会所管事務報告といたします。

なお、本委員会は、今後も閉会中引き続き委員会を開き、調査活動を続けていきたいと委員全員で決めておりますので、議長、よろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします。

済みません、１点、訂正させていただきます。

農業整備事業と言いましたが、農村総合整備事業で、誤りでございます。

**○議長（村井幸夫）**　ただいま各常任委員会委員長より、それぞれ報告がございました。この際、一括して委員長報告に対しての質問がございましたら発言願います。

［「なし」の声あり］

**○議長（村井幸夫）**　ないようでありますので、お諮りいたします。

各委員長より申し出のとおり、所管事務調査等を閉会中も継続していくことにしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

［「異議なし」の声あり］

**○議長（村井幸夫）**　ご異議なしと認めます。よって、各委員会とも閉会中も所管事務調査等の活動を行いことに決定いたしました。

～～～～～～～～　○　～～～～～～～～

**日程第６　議員派遣について**

**○議長（村井幸夫）**　日程第６、議員派遣についてを議題といたします。

お諮りいたします。

会議規則第119条の規定により、お手元に配付のとおり、議員を派遣することといたしたいと思います。なお、緊急を要する場合は、議長において、これを決定いたしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

［「異議なし」の声あり］

**○議長（村井幸夫）**　ご異議なしと認めます。

よって、本件は、そのように決定いたしました。

なお、派遣された議員は、派遣の結果を議長に報告いただきますよう、よろしくお願いを申し上げます。

以上で、本日の議事日程は全部終了いたしました。

この際、町長より、発言の申し出がございますので、これを認めることにいたします。

福島町長。

**○町長（福島　茂）**　閉会に当たりまして、一言、ごあいさつを申し上げます。

去る５月17日に開会をいただきました本定例会は、11日間の会期をお持ちいただきます中で、提案申し上げました10議案並びに追加議案２議案につきましては、連日、慎重ご審議をいただきまして、いずれも原案どおり認定、ご承認、またご可決を賜ったわけでございます。まことにありがとうございました。

本定例会は、文字どおり６月に町長選挙、議員補欠選挙日程のため、１カ月繰り上げをさせていただき、５月にお願いしたところでございますが、特に年度初め等の諸行事、また農繁の大変忙しいときでございました。議員皆様方におかれましては、連日にわたりまして調査ご審議、その他ご活動をいただきまして、重ねて厚くお礼を申し上げる次第でございます。

また、会期中におきまして、本会議各委員会、並びに一般質問等におきましてまことに貴重なご提言、ご意見をいただいてまいりました。ありがとうございました。役職員ともども、十分肝に銘じまして今後の町政運営に反映をさせていただく所存でございますので、引き続きまして一層のご指導をいただきますようお願い申し上げる次第でございます。

月があけますと、本町にとりましては重要な選挙等が控えております。また、初夏の季節ともなります。特にお忙しい日々をお送りをいただくことになろうと存じますけれども、十分にご健康にもご留意をくださいまして、さらなるご活躍を賜りますようご祈念申し上げる次第でございます。

まことに簡単でございますが、閉会に当たりましてのごあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

**○議長（村井幸夫）**　閉会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

今期定例会は、諸般の事情で、例年より約１カ月繰り上げて、去る５月17日に招集され、本日までの11日間にわたり開会いたしましたところ、議員各位におかれましてはご繁忙の中、連日にわたりましてご出席を賜り、提案されました重要な議案について慎重なるご審議をいただき、大変ご苦労さまでございました。

また、執行部におかれましては、適切なる対応をいただき、ありがとうございました。議員各位並びに執行部各位のご協力に対しまして、厚く御礼を申し上

げます。

本会議、委員会において、各議員から述べられました意見や要望については、特に考慮され、執行の上で十分反映されますよう、よろしくお願いを申し上げる次第でございます。

さて、緑と文化の町、竜王町をこよなく愛され、町政発展のために献身的なご努力をされました福島町長が３期12年をもって、今期限りで勇退されることになりました。町議会といたしましても、今日までの業績を高く評価し、続投を望む声も多くあり、再考をお伺いいたしましたが、大変残念なところではありますが、ご本人の意思も固く、やむを得ないものと存ずるところでございます。

顧みますと、平成４年６月24日、町民の衆望を担って第６代竜王町長にご就任されて以来、民間企業のオーナーとして長年培ってこられた豊富な知識・経験と、持ち前の行動力で敏腕を発揮され、３期12年間にわたって町政の執行に当たって来られました。

その間、ハード面においては、正規の大事業であります全町ほ場整備事業や畑地かんがい事業を引き継がれ、立派に完成されました。美田には、米・麦・大豆・野菜などが栽培され、四季を通して多くの農産物が生産されています。

畑地には、果樹や野菜が栽培され、体験交流型農業公園アグリパーク竜王は、多くの観光客で賑わっております。

平成８年には、屋根つき多目的グランドドラゴンハットが、その後、テニスコート、そして体育館、弓道場、プール等が一体となったドラゴンスポーツセンターが完成し、竜王町総合運動公園は、生涯スポーツの拠点として町民の健康・体力づくりの源となっています。

また、生涯学習社会にふさわしい図書館の整備や高齢化社会に向けた福祉施策の整備充実、近くでは安全・安心のまちづくりの拠点であります町防災センターの建設、竜王町シルバーワークプラザの建設、そして昨年11月に竣工いたしました道の駅竜王かがみの里は、国道８号線沿いでは初めての道の駅として県内外から脚光を浴び、地域振興が図られているところであります。

そして、今日の厳しい経済不況が続く中、企業の空洞化の波が押し寄せていますが、本町においては新規企業の誘致も積極的に取り組まれ、産業振興と雇用の促進が図られています。

一方、ソフト面においては、地域介護予防生活支援システムの整備など、福祉施策の充実に努められ、「福祉の福島」として町内外にその名をとどろかされて

おります。

また、竜王町の豊富な歴史文化を伝承し、人と物との交流や町の活性化を図るため、ふるさと竜王夏まつりでの万葉懐古行列の開催、ドラゴンサミットの開催や、先月に行われました義経サミットの開催などは、全国に誇れる地域づくりを展開されているところであります。

万葉懐古行列では、かつて雪の山のふもとに妹背の里で額田の王と大海人王子との相聞歌「あかねさす紫野行き標野行き、野守見ずや君が袖振る」「紫草のにほえる妹を憎くあらば、人妻ゆえにわれ恋ひめやも」と歌われた万葉ロマンは1300年余の時を経て、平成の時代絵巻として甦っています。

こうした取り組みは、21世紀の竜王町の新しいまちづくりの基本目標となります第４次竜王町総合計画に沿って「田園文化の薫る交竜の郷のまちづくり」が着々と芽を出しております。

まだまだ言葉に言い尽くせませんが、多くのご功績に対しまして深く感謝と敬意を表する次第であります。そして、福島町長を影で支えてこられました奥様をはじめ、ご家族の方々に対しましても改めて厚く御礼を申し上げるところでございます。

議会は、今期定例会が最後になろうかと存じますが、今後とも健康に十分留意され、残されました任期精一杯お務めいただきますよう心から望んでいるところでございます。

こうした時期に、国においては地方分権改革や三位一体改革が一層進められ、今国会に合併関連等の新三法が成立する運びとなっています。

本町におきましては、当面、合併に頼らず独自の自律したたくましいまちづくりを進めるためにいろいろとご努力をいただいておりますが、分権社会における住民自治の確立と行財政改革、意識改革など、自律推進に向けた改革への取り組みが進化を問われようとしております。今後とも、全職員が一丸となって、なお一層のご努力を念願するものでございます。

いよいよ、初夏を迎える季節となってまいりました。議員各位並びに執行部におかれまして、やがて梅雨に入る季節でもあり、くれぐれもお体にはご自愛いただき、町政の振興・発展のために一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げ、閉会に当たってのごあいさつといたします。

以上をもちまして、平成16年第２回竜王町議会定例会を閉会いたします。

大変、ご苦労さんでございました。

閉会　午前11時30分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためにここに署名する。

竜王町議会議長　　村　井　幸　夫

議会議員　　西　　隆

議会議員　　川　嶋　哲　也